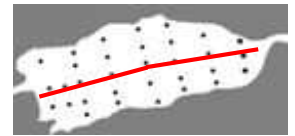


2026年5月 宍道湖 塩分・溶存酸素

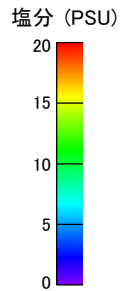
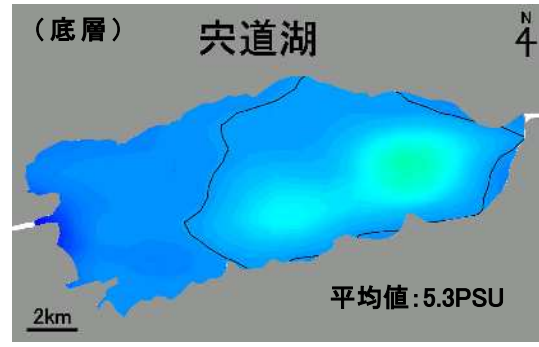
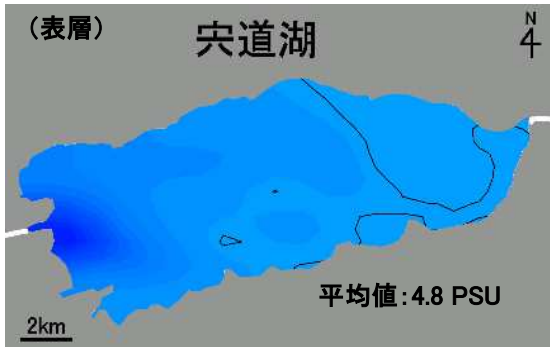
水域	調査日	天候	風向風速	水温 (表層平均)
宍道湖	2026年5月11日	晴	西 2.4 m/秒 → 西南西 7.4m/秒 → 西 5.4 m/秒	19.8 °C

● 調査地点 — 鉛直ライン



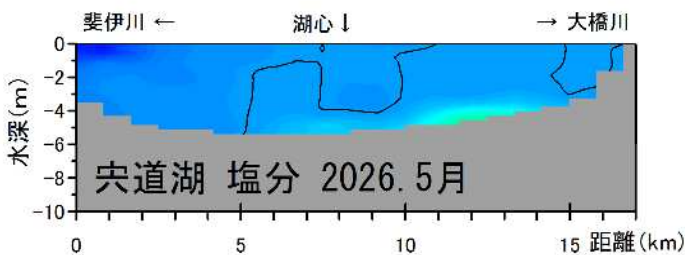
調査定点図

● 塩分 水平分布 (表層:左、底層:右)



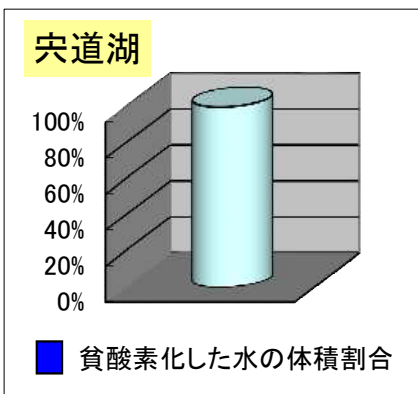
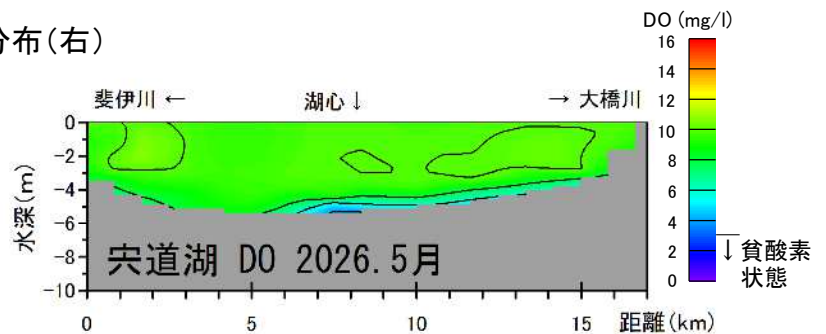
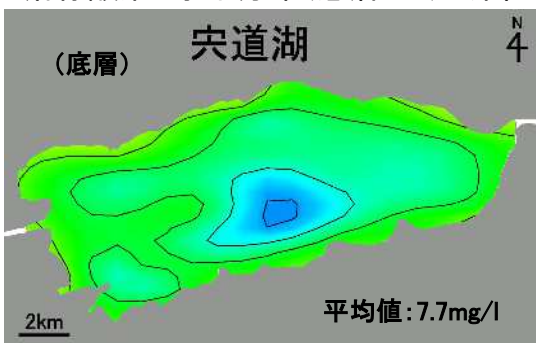
※塩分のスケールは2020年6月より変更となっています。過去と比較する際はご注意ください。

● 塩分 鉛直分布



表層、底層ともに先月から塩分は上昇しました。平年値と比較すると、表層は高く、底層は下回っていましたが、底層については湖心南側から大橋川方面にかけて高くなっている水域が見られました。
 (『R8年度水質状況』を参照)。

● 溶存酸素 水平分布(底層:左)と鉛直分布(右)



溶存酸素 3mg/l 未満の貧酸素化は観測されませんでした。湖心南側を中心に溶存酸素の低い水域が広がっていました。
 したがって、3mg/l 未満の貧酸素水の体積割合は 0%、貧酸素水体積割合は平年より低く、5月は貧酸素水塊は出現しませんでした。
 (『R8年度水質状況』を参照)。

● R8年度水質状況

